



津山市史編さん室長 尾島 治

なぜ、新しい『津山市史』をつくるのですか？

以前出版された『津山市史』（旧版津山市史）の最初の出版年からすでに40年以上の年月が経過しています。そのため、古文書などによる研究はもちろん、遺跡などの発掘調査や研究についても飛躍的に進んでいます。そこで、これまで分かった新しい研究成果を盛り込むことが必要になりました。

また、平成17年の市町村合併で津山市、阿波村、加茂町、勝北町、久米町が合併し、津山市は従来の2倍以上の広さとなりました。合併した旧町村でも、それぞれの地域の町村史が編さんされていましたが、単にそれらを一つにまとめれば良いというものではありません。

津山市史編さん室では、平成25年度から新たな『津山市史』の編さんを開始しています。その経緯や経過、成果をお知らせします。

津山市史編さん室(津山郷土博物館内：山下) ☎22・4567

『津山市史』とは

津山の自然風土や、古代から現代までの歴史を広くまとめた本です。これまで、昭和47年から平成7年にかけて『津山市史』（旧版津山市史）が刊行されました。

平成25年度からは時代ごとに部会を作り、旧版刊行後の研究で分かったことを追記するなど、郷土愛の醸成につながる地域の歴史書としての、新たな『津山市史』の編さん作業を行っています。



津山市史編さん委員会

『津山市史』はどのように編さんするのですか？

津山市史編さん委員会です。市史全体の方向性について決定し、時代ごとに部会をつくり、会議や調査を重ね、研究会を行いながら執筆を進めています。委員は、美作地域や岡山県内で、考古学や歴史学、民俗学などの研究を行っている人の中から特に詳しい専門家10人をお願いしています。

また、さまざまな分野で実績のある専門家41人にも個別に執筆をお願いしています。

そして、津山市教育委員会の専門職員を総動員した津山市史編さん室で時代ごとに、編さん業務に取り組んでいます。



津山市史講座

『津山市史』は難しくそうですが、どんな人でも読めますか？

たくさんの人に読んでいただくことを目的としていますので、できるだけ読みやすいものを作成しようと考えています。また、子どもたちにも分かりやすく伝えるため、『津山市史簡易版(仮題)』の作成を予定していますので、こちらも読んでいただけます。

そして、今後も津山市史関連の講演会などを定期的に開催していきますので、市史に関する話を聞きながら理解を深めていただければと思います。

# ①新しく編さんする『津山市史』について 編さん室の室長に聞きました

わたしたちがともに故郷を愛し、一体感を感じることができるようにつくっていくために、今の津山市全域を一つと捉える歴史書が必要であることから、新しい『津山市史』を編さんすることになりました。

『津山市史』はどのように編さんするのですか？

津山市史編さん委員会です。市史全体の方向性について決定し、時代ごとに部会をつくり、会議や調査を重ね、研究会を行いながら執筆を進めています。委員は、美作地域や岡山県内で、考古学や歴史学、民俗学などの研究を行っている人の中から特に詳しい専門家10人をお願いしています。

また、さまざまな分野で実績のある専門家41人にも個別に執筆をお願いしています。

そして、津山市教育委員会の専門職員を総動員した津山市史編さん室で時代ごとに、編さん業務に取り組んでいます。



昭和47年から平成7年にかけて刊行された『津山市史』（旧版津山市史）



近現代資料調査



古代史跡巡見

# 特集 市史を編む

新しい『津山市史』編さんが進んでいます

市では、平成25年度から新たな『津山市史』の編さんを開始しています。その経緯や経過、成果をお知らせします。

津山の自然風土や、古代から現代までの歴史を広くまとめた本です。これまで、昭和47年から平成7年にかけて『津山市史』（旧版津山市史）が刊行されました。

平成25年度からは時代ごとに部会を作り、旧版刊行後の研究で分かったことを追記するなど、郷土愛の醸成につながる地域の歴史書としての、新たな『津山市史』の編さん作業を行っています。

39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	年度(平成)	時代
								出版	←				自然風土・考古・古代	通史編
													中世・近世Ⅰ	
													近世Ⅱ	資料編
													近代	
													現代	
													民俗	資料編
													考古	
													古代・中世	
													近世	
													近現代	資料編
													民話	

※刊行スケジュールは、今後の調査研究により変更となる場合があります

← 調査研究・執筆期間

刊行スケジュール(予定)